

令和2年度 高千穂町立岩戸小学校評価書

(4段階評価 : 4 期待以上 3 ほぼ期待通り 2 やや期待を下回る 1 改善を要する) 平均 2.5 ※(4+3+2+1)÷4=2.5

評価項目		評価指標	具体的数値目標	方策・手立て	自己評定		結果の考察・分析及び改善策等	学校関係者評価コメント
					指標	総合		
【重点目標】 ○ 基礎的・基本的な知識・技能の習得、活用を通じた表現力の育成								
知 づ く り	学 習 指 導	1 校内研修や研究授業の計画的実施による授業力の向上	○ 授業力向上に関する教師の自己評価が90%以上	・ 考える場やグループ・全体での話し合いの場を設定する。 ・ 振り返りの時間を定着させ、応用問題に取り組ませる。	3	3	・ 本年度は重点支援校として年2回の訪問を受け、指導主事による授業参観とフィードバックにより各教師の学習指導力向上と共に児童の学力アップが図られた。 ・ Web単元テストによる既習内容の確認や余剰時間での個別指導等によって基礎・基本の学習の定着が図られた。	・ 授業態度はどの学年もとてもよい。特に自習時間の態度は素晴らしい。 ・ コロナ禍で家庭学習の多い1年だった。今後も家庭の協力のもと、定着と充実をめたい。 ・ オンライン授業などの取り組みは行わないのか？ ・ 読み聞かせはいつも集中して静かに聞いている。数冊用意し、毎回楽しみに参加している。保護者のボランティアが増えてくれるとうれしい。 ・ 「がらがらどん」の活動も今後も続けて欲しい。 ・ 今年度のお話会が中止になり残念である。
		2 児童の基礎的・基本的な知識・技能の習得	○ 基礎・基本が確実に定着した児童が80%以上	・ 個別的な指導を充実させたり繰り返しの学習をさせたりするなどして基礎・基本の学習の定着を図る。	4			
		3 学習訓練の定着	○ アンケートでの回答が90%以上	・ 学習中のルールとして、低学年の時期から繰り返し指導を行い、定着を図る。	3			
		4 家庭との連携による家庭学習の定着と内容の充実	○ 家庭学習の定着率が100% ○ 宿題や課題の提出が100%	・ 家庭学習の定着を図るために保護者との連携を図る。 ・ 「家庭学習がんばり週間」での取組の充実を図る。	3			
	図書教育	5 読書タイムの計画的な実施と充実	○ アンケートでの回答が80%以上	・ 読み聞かせを計画し、児童の読書意欲を高める。 ・ 各学年の児童のニーズに合った蔵書の充実を図る。	3	3	・ 朝の10分読書やボランティア団体「がらがらどん」・職員による読み聞かせ、県・町立図書館蔵書借用等により読書意欲を高めることができた。	
【重点目標】 ○ 基本的な生活習慣の確立と思いやりの心や正しい判断力を育てる指導の充実								
生 活 づ く り ・ 心 づ く り	基 本 的 生 活 指 導	1 あいさつ運動の適切な実施	○ あいさつの評価が90%以上	・ 「あいさつ運動」の実施と「あいさつ週間」の設定により、あいさつの輪を広げていく。 ・ 保護者と連携したあいさつ運動や立番指導を実施する。	3	3	・ PTAによる立番指導でのあいさつ活動や月初めの学年毎の「あいさつ運動」、「あいさつ週間」でのあいさつの素敵な児童の表彰等の取組により、校内のあいさつの輪を広げることができた。 ・ 毎月1回の教育相談と「まごころ委員会」を通して、全職員で児童理解を図ることができ、児童への指導に生かすことができた。	・ あいさつはこの学校にも負けないくらい大きな声で元気にでき、指導のよさを感じる。 ・ あいさつに対する学校の取組がよく、逆に大人の方が見習うべき。 ・ あいさつも大きな声で元気よく。 ・ 今後もPTA立番指導など継続していただきたい。(回数を増やしてもよい。) ・ 少ない人数での清掃は大変だと思うが、いつもきれいで感心する。
		2 定期的な教育相談による児童理解の充実	○ 「児童理解ができている」の評価が90%以上	・ 定期的に教育相談週間を設け担任が個別の教育相談を行う。 ・ 「まごころ委員会」を定期的に実施し、共通理解を図る。	3			
		3 友だちづくりによる思いやりの心の育成	○ 「自分の気持ちや考えを理解してくれる友だちがいる」の評価が90%以上	・ 特別の教科道徳や学級活動の時間等を中心に思いやりの心を育てる。	4			
		4 最後まで責任をもって取り組もうとする態度の育成	○ 朝のボランティア活動で上学年児童の参加が90%以上	・ 無言でてきぱきとした清掃活動に取り組ませる。 ・ 登校後に校庭の清掃、花の世話などに取り組ませる。	3			

【重点目標】 ○ 粘り強さを育てる指導や健康・生活安全指導の充実									
体 づ く り	体力づくり	1 体力向上プランの適切な実践と粘り強さを身に付けながらの体力向上	○ 新体力テストの県平均標準平均が50以上 ○ 「運動することが楽しい」という児童が100%	・ 新体力テストで落ち込みの見られている運動を中心に、体力向上に向けて取り組む。 ・ 朝の体力アップや昼休み時間の外遊びの奨励で運動能力を高めていく。	3	3	・ コロナ感染症の影響で体力テストが実施できず、数的な評価はできなかったが、持久走大会に全児童が参加し、大きなタイム差もなく全員が最後まで走りきることができた。児童の運動能力が高まっていることが分かる。	・ 持久走大会は今年度も例年通り地域道を利用して開催でき、大変よかった。	
	安全指導	2 安全な教育環境づくりと児童の生活安全意識の高揚	○ 毎月の安全点検の実施 ○ 毎学期の避難訓練の実施	・ 職員による安全点検を毎月実施する。 ・ 1学期に風水害と不審者対応2学期に地震、3学期に火災の避難訓練を実施する。	4		・ 毎月1回安全点検を実施し、安全な教育環境づくりに努めることができた。 ・ 外部講師による不審者対応の訓練を実施し、不審者侵入に対する新たな視点と心構えを学ぶことができた。		
	健康教育	3 健康の保持増進	○ 早寝・早起き・朝ごはんの取組が90%以上 ○ テレビ視聴時間1時間～1時間半 ○ 学年部毎の就寝時間の厳守	・ 毎月実施する元気もりもりタイムを充実させ「早寝・早起き・朝ごはん」を奨励する。 ・ 「ノーテレビタイム」を実施し、家庭への啓発を図る。 ・ 学校保健委員会の在り方を見直し工夫する。	3		・ アンケートでは生活リズムに関する評価が82%であったが、夏休み生活リズムチェックでは早寝64%、早起き57%、朝ご飯93%、テレビ視聴時間2時間以内74%であった。学校保健委員会で睡眠に関する講習を行ったので、今後、早寝・早起きの習慣化に努めていきたい。		

【重点目標】 ○ 家庭や地域社会との連携強化									
地域の中 の学校 づくり	人材活用	1 地域人材の情報収集と活用	○ 地域人材の情報収集 ○ 地域人材の活用	・ 地域人材の情報を収集し、協力を得ることができるようにする。 ・ 地域調べの学習で、地域人材を積極的に活用する。	3	3	・ コロナ感染症対策を講じながら、多くの外部講師を招いたり、地域へ出かけて校外学習を行ったり、深まりのある学習に取り組むことができた。	・ コロナ禍で行事が制限され、教育活動も計画通り進められない中、先生方のご苦勞が窺える。	
	情報発信	2 学校と家庭・地域社会における連携推進	○ 参観及び懇談率の向上 ○ 各種便り・HPの定期的発行と更新	・ 日程や懇談の内容を工夫し、参観しやすい雰囲気作りを行う。 ・ 児童や学校の様子を知らせ、学校への理解を深めてもらう。	4		・ 参観・懇談率が9割台と高く、本校の教育活動に対する関心の高さが窺える。 ・ 月1回の学校だよりやホームページの更新等で情報発信することができた。	・ 少ない人数で協力し、頑張った運動会は感動した。 ・ PTAの風船はとてもきれいで子どもたちの笑顔も最高だった。	
	地域交流	3 地域社会との積極的な交流	○ 他校や関係団体との連携の強化 ○ 地域行事等への積極的な参加	・ 保育園や幼稚園との連携事業を計画的に実施する。 ・ 地域の各種行事に積極的に参加し、地域に交わる。	3		・ 地域の行事等の中止や規模縮小しての実施のため、積極的な参加や交流はできなかったが、交流活動の代わりに地域の高齢者にお便りを出した。	・ 中止・規模縮小などあったが、地域の方々も理解、協力してくださった。	

【次年度の方向性についての校長所見】									
<p>学習の基礎となる力を定着させ、これから生きる力を身に付けさせるために、家庭・地域との協働による学校作りを進めるという学校経営ビジョンのもと、保護者や地域の方々の協力を得ながら、4つの重点目標（知づくり、生活づくり・心づくり、体づくり、地域の中の学校づくり）の達成を目指し、本校の教育の推進と全職員の学校経営への積極的な参画を図ってきた。特に本年度は、あらゆる活動が中止あるいは規模縮小での実施となり、保護者や地域の方々にはこれまで以上にご理解・ご協力をいただくことで取り組むことができ、感謝の念に堪えない。</p> <p>来年度もコロナ禍は続くであろうが、保護者や地域の方々の協力を得ながら、本校の教育目標「自ら考え、正しく判断し、豊かな人間性をもち、たくましく生きる児童の育成」の具現化を目指し、教員の資質向上を図りつつ、地域との協働による教育活動に取り組み、健全な岩戸っ子を育む教育を推進したい。</p>									